

## 光合成アンテナ研究から農業へ

私が生まれた年のノーベル化学賞は光合成器官の三次元構造の決定に関するものであり、光合成には少なからず縁があるように感じています。子どもの頃から光合成ってどんなものなのだろうと不思議に思っていました。縁があって学生からポスドクにかけて立命館大学の民秋 均先生のもとでクロロフィル色素(葉緑素)の研究に関わらせていただきました。最近はクロロフィル色素を扱っていませんが、今回、執筆の機会を与えていただいたことに感謝申し上げます。光合成研究との縁を改めて感じていますので、思い出も含めて書かせていただきたいと思います。・・・